

塀の安全性の確保は所有者の責任です 安全ですか？ブロック塀や石積みなどの塀

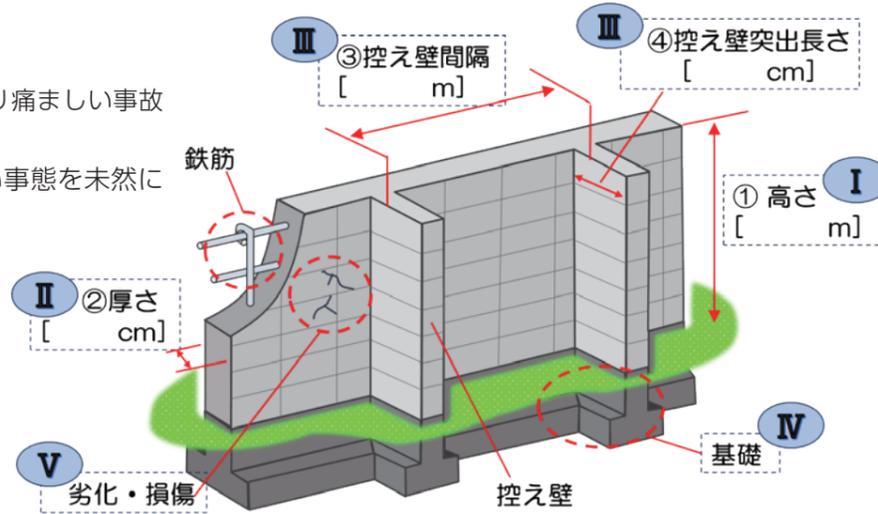
所有者・通行者のみなさんへ

大阪府北部を震源とする地震により痛ましい事故が発生して6年。

地震に備え、取り返しのつかない事態を未然に防ぐため安全点検を行いましょ。

Let's try 安全点検スタート！

右の図を参考に、①～④の寸法を測定し、測定寸法と外観を下の表で点検します。



項目	種類	
	A ブロック塀の場合 ↓該当項目に☑してください	B 組積造の塀の場合 ↓該当項目に☑してください
I 塀の高さ	地面から 2.2 m以下である (①高さ)	地面から 1.2 m以下である (①高さ)
II 塀の厚さ	②厚さが 10cm 以上 (①高さが 2 m を超える場合は 15cm 以上) である	②厚さが次の値☆以上ある 計算：①高さ (m) × 10 = (☆ cm)
III 控え壁	III - 1、III - 2 いずれかを満たしている	III - 1、III - 2 いずれかを満たしている
	III - 1 控え壁不要	①高さが 1.2m 以下である
III - 2 控え壁必要	③控え壁間隔が 3.4m 以下である ④控え壁突出長さが次の計算値☆以上 計算：①高さ (m) × 20 = (☆ cm)	③控え壁間隔が 4.0m 以下である ④控え壁突出長さが次の計算値☆以上 計算：②厚さ (cm) × 1.5 = (☆ cm)
IV 基礎	コンクリートの基礎がある	基礎がある
V 劣化・損傷	傾いたり、一部ひび割れていない	傾いたり、一部ひび割れていない

点検結果チェック

- すべての項目に☑がある ⇒ 今後も劣化・損傷の観察を行いましょ。
- ☑にならない項目が一つでもある ⇒ 専門家に相談しましょ。注意表示をし、補修・撤去を行いましょ。

★ブロック塀等除却費用に係る補助金の相談 建築開発課 ☎ 25- 1 1 4 0

市では、通学路など道路に面する危険なブロック塀等の除却費用を補助しています。詳しくは、ご相談ください。

★塀に関する専門的な相談 (専門家)

- ・ (公社) 日本エクステリア建設業協会 ☎ 03-3865-5671
- ・ (一社) 埼玉県建築士事務所協会 ☎ 048-864-9313
- ・ (一社) 埼玉建築士会 ☎ 048-861-8221

★塀の安全対策の相談 (行政)

- ・ 建築開発課 ☎ 25- 1 1 4 0
- ・ 埼玉県熊谷建築安全センター ☎ 048-533-8776

※写真は被害事例です。

パソコン・スマホで避難所の状況が確認できる VACAN Maps (バカンマップ)

★危機管理課 ☎ 25- 1 1 8 4

災害時に、指定避難所の開設・混雑状況を確認できる「VACAN Maps (バカンマップ)」。

事前にスマートフォン等で右記コードを読み取り、『もしも』に備えてブックマーク登録等をお願いします。



▼ VACAN Maps の使用イメージ

- ①開設していない指定避難所は「Closed (または利用停止中)」と表示されます
- ②を選択すると、開設している指定避難所の情報が表示されます
- ③混雑状況は、「空き→やや混雑→混雑→満」の4段階で表示されます

雨が多くなる時期に向けて 冠水対策に取り組みましょ

★道路整備課 ☎ 25- 1 1 3 4

！道路への土砂の流出を防ぎましょ

畑や駐車場等から雨水と一緒に流出した土砂が道路側溝にたまると、排水できなくなり、道路冠水の原因となります。

土砂の流出を防ぐため、土留め等の対策をお願いします。また、土砂が流出した場合、速やかな撤去をお願いします。

！止水板を設置しませんか

建物等の浸水被害を軽減するため、止水板の設置費用を補助しています。詳しくは、お問い合わせください。

対象 次のいずれかに該当する方

- ・過去に浸水被害があった方
- ・市洪水内水氾濫ハザードマップの浸水想定区域内に在住の方

利根川氾濫の危険が迫ったときに備えて 自主避難のいつ、どこへ

この特集記事は、洪水時の避難行動の啓発を目的に、利根川氾濫域の自治体による合同企画として同時期に発行する広報誌に併せて掲載しています。

各自の置かれた状況や避難に必要な時間によって、避難を開始するタイミングや避難先は異なります。より安全に避難できる方法を確認し、考えておきましょ。

なぜ？

大雨により利根川が氾濫した場合、**広い範囲に長期間深い浸水が想定**されており、**自宅や浸水域内にとどまることはできません**。

そのため、浸水のおそれがない地域へ、避難することが必要です。

いつ？

車で避難を考えている方が多いため、**混雑による渋滞の発生が考えられます**。

台風の接近や、大雨が降り続くことが予想される場合は、利根川の水位がまだ高くない場合でも、**暗くなる前、雨や風が強まる前に早めの避難**を自主避難

どこへ？

浸水のおそれのある市町では公的な避難所の確保を進めていますが、市内、町内の避難所は浸水してしまうところもあり、受け入れることができる人数が限られます。

まずは 自主避難先

浸水のおそれが低い地域の親戚・知人や宿泊施設・勤務先等

つぎに 市町が指定する避難先

各自で確保

★利根川上流河川事務所防災対策課 ☎ 0480-52-3956